

第1回素形材産業取引適正化委員会

議事要旨

1. 日時・場所

日時：2021年6月18日（金）10:00～12:00

会場：オンライン（Microsoft Teams）

2. 出席者（敬称略）

委員長	細田 孝一	神奈川大学法学部教授
委員	川合 弘造	西村あさひ法律事務所 弁護士
	馬場 敏幸	法政大学経済学部教授
	港 徹雄	青山学院大学名誉教授
	藤原 慎二	（一社）日本鑄造協会会長
	角田 邦夫	（一社）日本鍛造協会会長
	浦上 彰	（一社）日本ダイカスト協会会長
	高木 龍一	（一社）日本金属プレス工業協会会長
	太田 大介（代理）	（一社）日本鑄鍛鋼会副会長・専務理事
	小出 悟	（一社）日本金型工業会会長
	嶋崎 利行	（一社）日本金属熱処理工業会会長
	橋本 伸宏	日本粉末冶金工業会会長
	加藤 貴己	（一社）日本自動車工業会 サプライチェーン委員会 調達部会 部会長
	奈須野 光祐	（一社）日本自動車部品工業会 常務理事
	関矢 裕一	（一社）電子情報技術産業協会経営企画本部長

事務局	谷 浩	経済産業省製造産業局素形材産業室長
	須摩 悠史	経済産業省製造産業局素形材産業室室長補佐
	今福 幸一	経済産業省製造産業局素形材産業室室長補佐
	石原 裕久	経済産業省製造産業局素形材産業室室員

5. 議事概要

- 事務局より、資料4に基づき、昨年度実施した自主行動計画フォローアップ調査の結果について共有
- 資料5に基づき、「素形材産業取引ガイドライン」の改正事項について審議。

（主な発言）

- ・ガイドラインの記載内容は法律なのかと顧客から指摘される。
- ・手形の現金払化について、金融機関が（手形振り出し側企業に対して）ファイナンスの案を提示するなど、大きな動きが始まりかけている。

- 素形材業界及び関連業界における取引適正化の取組状況、課題について委員より発言。

（主な発言）

- ・セミナーやメルマガ等により、ガイドラインの普及啓発に努めている。
- ・取引適正化のみならず、カーボンニュートラルなどのサプライチェーン全体で取り組むべき新たな課題への対応も外せないテーマである。

- ・原価低減要請及び手形払いについて、取引先（発注側）の意識改善という見地から、「パートナーシップ構築宣言」を行う企業の増加に非常に期待している。
- ・材料価格上昇の転嫁は進みつつあるが、値上がりのペースが速すぎる。従来のような小幅な変動が短期的で起こるということを前提とした価格の見直しでは反映できないことが課題である。
- ・素形材業界は発注側にも受注側にもなるが、取引適正化は、サプライチェーン全体での取り組まないといけない。

以上